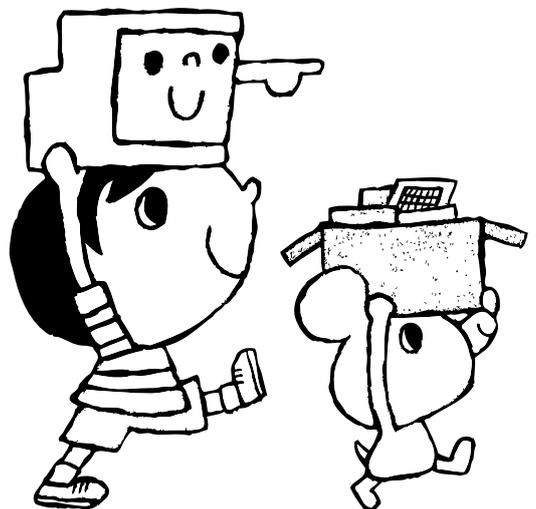


Annual Report 2006

特定非営利活動法人イーパーツ・活動報告書 (2006.7 ~ 2007.6)



もくじ

1.	イーパーツとは	
1-1.	活動目的	3
1-2.	2006 年度、イーパーツの主な活動	4
1-3.	スタッフ紹介	5
2.	イーパーツの寄贈プログラム	
2-1.	寄贈プログラムについて	6
2-2.	スペシャル寄贈プログラム	8
2-3.	「がんばるぞ！」のメッセージ	10
2-4.	リユース PC 寄贈プログラム	12
2-5.	リユース PC で地域と連携	14
2-6.	リユース PC 寄贈プログラム寄贈団体一覧	16
2-7.	寄贈プログラムご協力団体一覧	21
2-8.	笑顔のメッセージ パソコン編	22
2-9.	リユースカラーレーザープリンタ寄贈プログラム	24
2-10.	笑顔のメッセージ カラーレーザープリンタ編	26
2-11.	周辺機器寄贈プログラム	28
3.	レクチャー・スペシャルプロジェクト	
3-1.	レクチャー・スペシャルプロジェクト	30
3-2.	2006 年度実施記録	38
4.	イーパーツについて	
4-1.	メディア掲載記録	40
4-2.	会計報告	41
4-3.	団体概要	42

イーパーツとは 活動目的

「市民活動団体や NPO にとって、それぞれの生活環境や歴史によって、何が
必要なのか、何が最適なのかが違ってくるはずですが。イーパーツは、決して
ひとりよがり善意の押しつけにならないように、その人たちにとってより
良い方向へ進んでいくことを応援していこうと考えています。」

「イーパーツ」(eparts)は、2001年に設立された(2002年法人格取得)、
リユース PC やカラーレーザープリンタ等の情報機器を無償で寄贈する活動
や、情報セキュリティに関するシンポジウムの開催などを通して、非営利
組織・ボランティア団体・障害者グループの支援を目的とする特定非営利
活動法人です。

「eparts」とは、「Evolutional PARTner Support」を意味しています。「eparts」
の「Evolution(進化)」には「それぞれの環境の下で最適であるものが必要」
と考えます。市民活動団体や NPO にとって、それぞれの生活環境や歴史
によって、何が必要なのか、何が最適なのかが違ってくるはずですが。

イーパーツのスタッフは様々な職業の人たちから構成されています。私た
ちはそれら各々の立場から意見を交わすことによって、ある特定の立場に
偏ることのない中立な活動を行うとともに、深い洞察をもった学識経験者
の意見を取り入れた運営を目指しています。

イーパーツは、決してひとりよがり善意の押しつけにならないように、
その人たちにとってより良い方向へ進んでいくことを応援していこうと考
えています。

特定非営利活動法人イーパーツ 代表 佐々木 良一



代表理事 佐々木 良一

1971年 日立製作所入所。システム開発研究
所にてシステム高信頼化技術、セキュリティ
技術、ネットワーク管理システムなどの研究
開発に従事。同研究所第4部(ネットワーク
関連)部長、セキュリティシステム研究セン
ター長、主管研究長などを経て、2001年4
月より東京電機大学工学部教授。工学博士。

イーパーツとは

2006 年度、イーパーツの主な活動

イーパーツの主な事業は、「寄贈プログラム」「スペシャルプロジェクト」「レクチャー」の3つです。情報機器の寄贈とそれらを上手に使うためのノウハウ、そして高度情報化時代をどのように戦略的に考えるか、ハードウェアとソフトウェアの双方から市民セクターの情報化を支援しました。

1) 寄贈プログラム

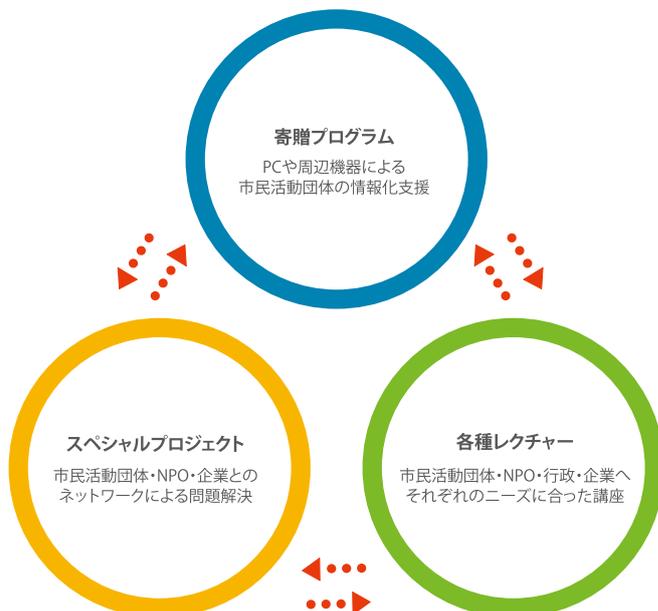
協力企業からご寄付を頂いたパソコン・プリンタを再生し、必要なソフトウェアや周辺機器とともに、全国の市民活動団体やNPOに寄贈することで市民活動・ボランティア活動の情報化を進めました。昨年はPC不足の為、市民活動団体の要望に応えられませんでした。今年度は、多くの企業様のご支援で、活動以来最大数のPCを寄贈できました。また、情報機器のみならず、パソコンバックや事務用品など「あれば便利なもの」も寄贈することができました。

2) スペシャルプロジェクト

イーパーツで蓄積した市民活動団体・NPOのデータベースおよび企業とのネットワークを活用し、情報化社会の抱える問題やニーズに即したテーマを、プロジェクトを形成し専門性をもって実施することで、社会的問題解決にあたりました。プロジェクト内容は、情報コンサルティング・情報化のためのイベント・シンポジウムの企画・実施など、多種多様です。

3) レクチャー

情報を効果的に安全に利用できるようにセキュリティ・個人情報保護に関するもの、また情報をどう上手に利用するかについての講座を、市民活動団体・行政・企業を対象に、それぞれの現場のニーズに合った形で実施しました。



イーパーツ3事業の関係

イーパーツの活動は、3つの事業がお互いにその経験やノウハウをフィードバックしながら、連携して行われています。

モノだけではない！

レクチャーおよびスペシャルプロジェクトは、モノを渡すだけではなく技術や知識の提供をめざしています。

情報機器とその使い方が両立して、初めて市民活動の情報化が進むと考えます。

イーパーツとは

スタッフ紹介

イーパーツは、少人数で小回りのきく事務局と大勢のボランティアスタッフによって支えられています。

常務理事・事務局長 会田 和弘

主にプログラム開発と統括を行っています。

どれだけ市民活動団体にパソコンを寄贈するかではなく、市民活動団体の情報化の為、何が必要かをいつも考えたいと思います。

また、高度情報化時代、子供たちをどう支援するかも考えなければならない大きな課題だと思っています。

スタッフ 鈴木 幸江

IT支援のイーパーツですが、私はまだまだ初心者なので、パソコンで「困った!」のお気持ちがよく分かります。

少しでも皆様のお力になれるよう頑張ります。

寄贈先の皆様の心温まるメッセージや、笑顔に大きなエールをいただきこれからも企業のハートを市民活動団体へお届けさせていただきます。

スタッフ 皿澤 さとみ

毎日、多くの人々に会っていろいろな事を吸収しています。

特に障がい者の方々に話を聞いてみると、普段私たちが普通に過ごしている事でも大変だったりして、勉強になります。

少しでも市民活動団体の方々がパソコンを利用して有意義な活動が出来るよう願っています。

スタッフ 野口 照喜

IT企業に勤めていますが、学生ボランティアOBです。主に、子供たちとのPC分解講座などで学生が楽しくトラブルなく活動できるような雰囲気づくりを心がけています。

車大好き、旅行大好き、おいしいモノ大好き、あまり強くないですがお酒も大好きなボランティアのまとめ役です。

スタッフ 山中 資久

2006年度、ドキュメントやWeb・映像制作が中心に活動しました。そして、はじめてスペシャル寄贈プログラム運営に関わりました。どきどきでした。

プロジェクトスタッフ・ボランティアスタッフ

【デザイン】松原 慶太

【イラスト】きたがわめぐみ

【ドキュメント作成】市川 徹

【ボランティア】青木 大、井之上直也、落合 利香、北澤 梓、熊谷 和貴、齋藤 晋、須田 晃介、高橋 正二郎、廣田 陽一、藤井 習之、三橋 俊太郎、諸星 陽平、元持 恵、矢島 良将、谷津 浩行、山根 健司、東京電機大学ボランティア

イーパーツの寄贈プログラム

寄贈プログラムについて

「まだまだ使えるモノ」を、手をかけて「必要なところ」へ企業から寄付いただいた情報機器を再生し、必要なソフトウェアや周辺機器とともに全国の市民活動団体・NPO に寄贈します。これにより、市民活動・ボランティア活動の情報化をめざします。

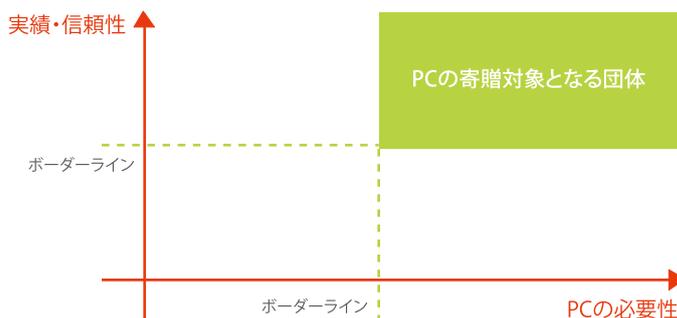
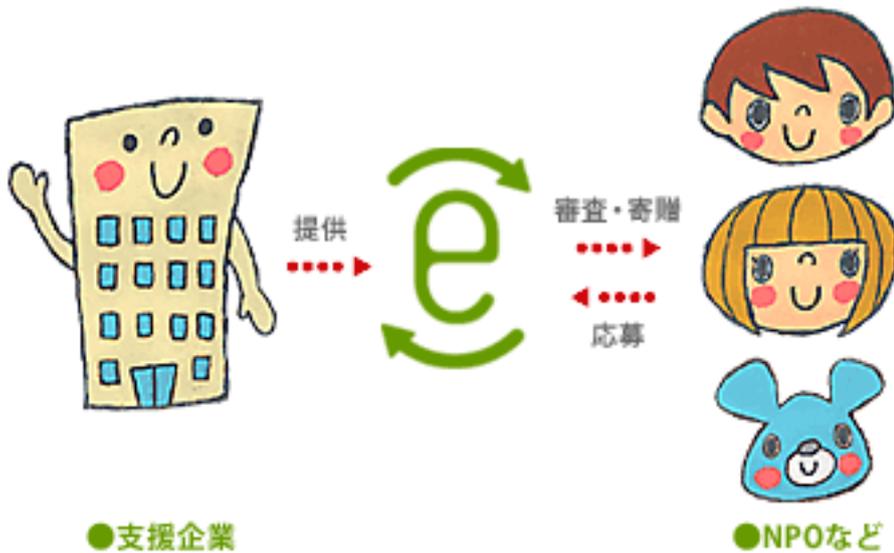
1) 適切なものを適切なところへ

イーパーツでは、情報機器のばらまきを行いません。

情報機器が有効に使われるように、がんばっている団体、そして本当に必要な団体と必要な台数を選考します。イーパーツ独自の評価システムをもちい、客観的かつ中立な立場で、不適切な団体を排除し、まじめにがんばっている団体へ必要なものを寄贈するように努めています。

2) 団体業務で使えるものを

あまり古い機器では役に立ちません。イーパーツでは市民活動団体の業務に耐えられる情報機器を寄贈するように心がけています。その結果、PCが不足しても廃棄物は押し付けません。ある一定の質を保つことは社会への責任と考えます。また、情報化が進むにつれて必要なものも変わってきます。その変化に合わせて新たな機器の寄贈プログラムを開発しています。2006年度は、新たに画像編集ソフト等を寄贈しました。



イーパーツ独自の評価システム
不適切な NPO や必要のない団体への寄贈をさけるため、イーパーツでは、2000 団体を超えるデータベースと学識経験者・活動実務者を中心とする豊富な経験に基づいた独自の評価システム (Rating System) を採用し、客観的な判定を目差しております。

イーパーツの寄贈プログラム

イーパーツでは、公益性をもつ活動をしている団体で、予算などの諸事情から情報化が遅れている団体に対して、以下の5つ寄贈プログラムを実施しております。

1) スペシャル 寄贈プログラム

市民活動をより活性化する為には、どのような情報機器とソフトウェアが必要かという観点から実施する特別寄贈プログラムです。2006年度は、アドビシステムズ(株)様、(株)大塚商会様、日本ヒューレット・パカード(株)様のご支援でPCとデザインソフト寄贈そしてレクチャーの無料提供プログラム「市民活動も クリエイティブカ&デザインカUP!」を実施しました。

2) リユース PC 寄贈プログラム

Windows OS(2000/Xp)・Office 2000/Xp・Works7 をインストールした Celeron 800MHz クラス以上の再生PCをウィルス対策ソフトVirusBuster2007を添付して寄贈するプログラムです。

2006年度は、年6回の「全国型公募プログラム」に加えて年6回の「地域型公募プログラム」として実施いたしました。

3) リユースカラーレーザープリンタ寄贈プログラム

(株)リコー様およびリコー関連会社様のご支援で、ショールーム等で展示されていたカラーレーザープリンタをメンテナンスの上、市民活動団体へ寄贈する公募プログラムです。公益的活動を行う際に大量印刷が必要な団体にとっては、カラーレーザープリンタはランニングコストや品質の面から必需品です。2006年度は第5回、第6回公募を実施いたしました。

4) 周辺機器他寄贈プログラム(「あれば便利」企画)

時代と共に情報のあり方も進化します。市民活動団体がより効率的に活動する為にはいろいろな情報機器が必要になってきます。また、事務所で使うクリアファイルやプリンタトナーなどの消耗品代もバカになりません。イーパーツでは、市民活動にとって「あれば便利」なものを随時公募しプレゼントしております。2006年度は、無線ルータ、液晶プロジェクタ、クリアファイル、ボールペン、PCバックなどを寄贈しました。

5) 災害地支援 情報機器寄贈プログラム(リリーフ PC 寄贈プログラム)

2004年の新潟中越地震・台風21号23号による水害を機に、自然災害の復旧復興に活躍する市民活動団体の情報化を情報機器で支援することを目的に策定されました。

また、このプログラムの為、全国より多くの寄付金を頂きました。一部は2004年度に情報機器送料として使わせて頂き、残金34,725円は、今後の当プログラムの送料としてプールしております。(2007年7月、新潟中越沖震災復興支援用PCの送料およびライセンス発行手数料として、使わせて頂きました。)

イーパーツの寄贈プログラム

スペシャル寄贈プログラム

「Adobe ソフトで市民活動も クリエイティブ力&デザイン力 UP !」
市民活動にとってデザインやイメージアップも大切な要素です。
市民活動の企画力・広報力・創造力 UP、また障害者自立の為、デジタル画像
編集ツール・DTP ソフトウェアをパソコンと一緒に寄贈しました。
これを効果的に利用して頂く為、無料セミナーも実施しました。

ソフトだけではなく、それをインストールする新品パソコン、有効活用の
為の無料レクチャーを一緒にした新たな寄贈プログラムが、4社とイー
パーツとの協働で可能となりました。

公募期間：2007年2月28日～3月31日

寄贈品：パソコン HP Compaq Business Desktop dx5150 SF 10台
デザインソフトウェア 10セット

- ・ Adobe Creative Suite 2 Premium
- ・ Macromedia Dreamweaver 8
- ・ Macromedia Flash Professional 8
- ・ Adobe Premiere Elements 3.0

セキュリティ対策ソフト VirusBuster2007 10本

(総額 400 万相当)

無料セミナー：東京会場2回、大阪会場2回

協賛・協力：アドビシステムズ株式会社様 (ソフトウェア・講師ご提供)

株式会社大塚商会様 (レクチャー会場ご提供)

日本ヒューレット・パカード株式会社様 (PC ご提供)

トレンドマイクロ株式会社様 (セキュリティ対策ソフトご提供)

応募総数と選考結果：119 団体様より応募頂きました。よりよい社会へ
ソフトをどう有効利用して頂けるかの観点から、以下団体を選考致しま
した。



寄贈団体名	所在地	PC & VirusBuster	CreativeSuites 2	Dreamweaver 8	Flash Pro 8	Premiere Elements 3.0
夢トライ工房	長野	1	1	1	1	1
国境なき子どもたち	東京	0	1	1	1	1
プレイグラウンド	埼玉	1	1	1	1	1
プレーパークせたがや	東京	1	1	1	0	1
ADRA Japan	東京	1	1	1	1	1
世田谷テレビ	東京	1	0	0	1	0
シェア＝国際保健協力市民の会	東京	1	1	1	1	1
北海道グリーンファンド	北海道	0	1	1	1	1
ボラみみより情報局	愛知	1	1	1	0	0
こえとことばとこころの部屋	大阪	1	0	0	1	1
東京シューレ	東京	1	1	1	1	1
多文化共生センター東京	東京	1	1	1	1	1

イーパーツの寄贈プログラム

連携した無料講座「Photoshop & Illustrator HandsOn」

デジタル画像編集ツール・DTP ソフトウェアの寄贈にともない、これらのソフトを十分に活用してもらう為に、無料講座を開催しました。今回寄贈を受けた団体だけではなく、応募された方々も参加し、皆で市民活動団体のデザイン力・広報力アップを目差しました。8月にはInDesign・Flash 講座を予定しております。

日時：2007年5月29日(東京)30日(大阪)13:00～18:00

会場：東京 大塚商会 αラーニングセンター水道橋

大阪 大塚商会 ITソリューションセンター大阪

講師：大倉氏(アドビシステムズ)、日下部氏(アドビシステムズ)

対象：スペシャル寄贈プログラム採択団体、市民活動団体広報担当者、障害者自立支援組織担当者など。東京22名、大阪14名

講座内容：Bridgeの活用、Photoshop CS2による写真補正・編集(RBGレベル補正、トーンカーブの活用、コピースタンプツール、スポット修正ブラシ、Vanishing Point、クイックマスクとアルファチャンネル等)、Illustratorの活用(ペンツールの基礎、ライブパス、ライブペイント、入稿について等)

受講生の声：

- ・かなり整理出来たと思う。
- ・無料でこういう講座が受けられるのは大変ありがたい。
- ・新しい機能を知ることができてよかったです。もうパスをうちまくらなくてすむので感動しました。
- ・Bridge・ライブトレース・ライブペイント・スポット修復は便利そう。
- ・印刷業界の豆知識も楽しかったです。
- ・資金獲得が力不足のため、人手・技術ともにきびしい中、今回の研修は大変貴重な機会だと思います。
- ・NPOに不足しているPCやPCソフトがNPOの活動を活性化させると思います。声援を送ります。
- ・物だけではなく、こういった講習会は大変有難いです。もし、できるなら、講習会を続けて頂けるとうれしいです。
- ・地方ではなかなか機会もないので、勉強になりました。



イーパーツの寄贈プログラム

「がんばるぞ！」のメッセージ

スペシャル寄贈プログラム採択団体は、半年後・1年後に成果を Web で発表しなければなりません。これら笑顔がすばらしい成果をだしてくれることでしよう。

プレイグラウンド

事務所専用のパソコンが手に入ったことにより、データの一元化が可能となりました。また Adobe の新しいソフトを導入したことにより、幅広いデザインが可能となりました。今後もご期待に沿えるよう、頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました！！



シェア=国際保健協力市民の会

機関誌のリニューアルを考えている時期であり、更には来年設立 25 周年を控え制作物が増える時期だっただけに、とてもよいタイミングでした。今後は、シェアの活動を多くの方に知っていただくために、努力していきたいと思っております。

今回の寄贈に関係してくださった皆さま、ありがとうございました。



ボラみみより情報局

毎月ボランティア情報誌『ボラみみ』を1万部発行している当団体にとって、今回の寄贈プログラムはまさに求めていたプログラムでした！！

今後、寄贈していただいたソフトを最大限に活用してより良いボランティア情報誌を創っていききたいと思います。

本当にありがとうございました。



ADRA Japan

活用するために、新しく PC を購入しました。

(端っこに写っているものです)

最大限、活用していきたいと思っております。

ありがとうございました。



こえとこころとことばの部屋 cocoroom

アートを媒介としたソーシャルインクルージョンを目指す当法人の「わかりにくい」プロジェクトを、映像という理解しやすいフォーマットを用いて発信していけたらと考えています。

これからディレクションと編集の技術を向上させ、魅力的なコンテンツを作っていきたいです。ありがとうございました。



Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

夢トライ工房

スペシャル寄贈プログラム本当にありがとうございます。DT 技術を身につけて一般就労へ挑戦している私達にとって最新の DTP ソフトは是非とも欲しいものでした。それも、DTP と WEB デザインの主流となるソフトが全て統合的に使える環境が今回のスペシャル寄贈プログラムで実現することになり、夢のようです。

必ず今回のご寄贈に対し、使いこなした成果をお送りしたいと皆頑張っております。



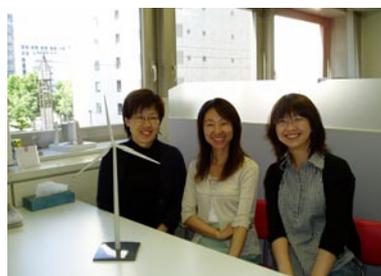
国境なき子どもたち (KnK)

いただきました Adobe ソフトで早速、作業を始めております。

Dearmewaver は以前とバージョンが 4 つも違うので、作業に戸惑い、In Design は初めて使用するので勝手がわからず悪戦苦闘しております。これから各種ソフトについてさらに勉強し、使いこなせるようにがんばります。半年後のご報告を楽しみにしててください。



北海道グリーンファンド



東京シューレ

デザインも映像の編集も憧れのソフトで、早いマシンで動かさせてとっても幸せです。まずは、この PC とソフトでシューレ大学の紹介ビデオとデザイン名刺の制作を進めます。



世田谷テレビ

今までは、動画をそのままアップしたインターネット放送局でしたので、一端ダウンロードしてもらわなければなりません。これで Web でそのまま見ることができ、放送局らしくなります。



イーパーツの寄贈プログラム

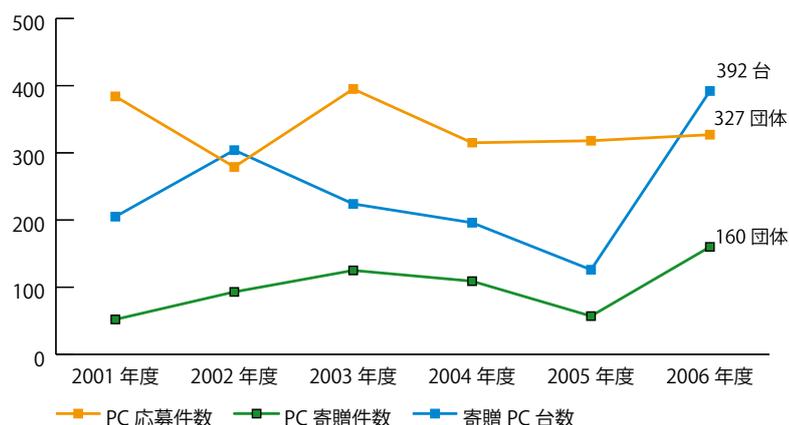
リユース PC 寄贈プログラム

パソコンは今や市民活動団体にとって必需品となっています。インターネット普及率が68%を超えても、団体専用のPCがない団体やセキュリティが甘いPCをつかっている団体もまだまだあります。イーパーツでは、市民活動の情報化支援として、安全で安心できるリユースPCの寄贈を行っています。

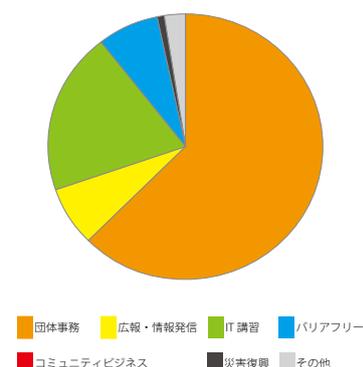
Celeron 800MHz クラス以上のパソコンを十分にメンテナンスした上で Windows OS(XP/2000)・Office 2000/XP・Works7 をインストールし、ウィルス対策ソフト VirusBuster2007 を添付し、市民活動団体などの公益的な活動をしている団体へ寄贈するプログラムです。

全国を対象とした「全国型リユース PC 寄贈プログラム」、地域の団体と連携した「地域型リユース PC 寄贈プログラム」、また災害時に対応する「リリーフ PC 寄贈プログラム」で多層的に市民活動のニーズに対応します。

応募件数、寄贈件数、PC 寄贈数の推移



寄贈 PC の利用法



1) 全国型リユース PC 寄贈プログラム

全国を対象に、Web 上で、偶数月（2月、4月、6月、8月、10月、12月）10日締め切り、合計年6回実施しています。寄贈団体一覧は16ページ掲載しております。

※本年度より年度内で寄贈決定した数を実績として集計しております。昨年度以前とは数値が異なっておりますが、全体の件数および寄贈台数には変わりありません。

実施プログラム	応募件数	寄贈件数	寄贈 PC 数
2001 年度公募プログラム (第 1 回～第 7 回)	384 件	52 件	205 台
2002 年度公募プログラム (第 8 回～第 14 回)	248 件	88 件	232 台
2003 年度公募プログラム (第 15 回～第 20 回)	395 件	125 件	224 台
2004 年度公募プログラム (第 21 回～第 26 回)	263 件	75 件	126 台
2005 年度公募プログラム (第 27 回～第 32 回)	292 件	41 件	141 台
2006 年度公募プログラム (第 33 回～第 38 回)	245 件	91 件	252 台
合計	1827 件	472 件	1180 台

イーパーツの寄贈プログラム

2) 地域型リユース PC 寄贈プログラム

全国型とは別に、地域の団体と連携し、その地域に密着した公募プログラムです。単に書類だけではなく、お互いに顔が見える関係の中で公募と寄贈先の選考を行ないます。また、リユース PC の寄贈だけでなく、PC をどのように有効利用したらよいか、イーパーツは何ができるのかを地域と一緒に考えます。

詳しくは、14 ページをご覧ください。

地域型プログラム 2002～2006 年度	応募件数	寄贈件数	寄贈 PC 数
世田谷イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2003.4 2007.3)	9 件	8 件	85 台
兵庫イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2004.8 2006.3)	31 件	13 件	14 台
伊勢イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2005.5 2005.12)	14 件	7 件	17 台
山形イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2005.4)	5 件	5 件	11 台
甲南大イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2005.10)	1 件	1 件	1 台
大分イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.6)	3 件	3 件	9 台
栃木イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.11 2007.2)	29 件	23 件	40 台
金沢イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.12)	3 件	3 件	8 台
伊勢松坂イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2007.2)	9 件	9 件	15 台
北九州イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2007.6)	37 件	30 件	63 台
合計	141 件	102 件	263 台

3) 災害地支援情報機器寄贈プログラム (リリーフ PC 寄贈プログラム)

2004 年の新潟中越地震・台風 21 号 23 号による水害を機に、自然災害の復旧復興に活躍する市民活動団体の情報化を情報機器で支援することを目的に策定されました。2006 年度は 1 件 PC1 台を寄贈しております。

災害支援プログラム 2004 年度～2006 年度	応募件数	寄贈件数	寄贈 PC 台数
兵庫 台風 21 号、23 号水害復興支援公募プログラム (2004.8 2004.11 2004.12)	17 件	14 件	22 台
新潟 新潟中越地震復興支援公募プログラム (2005.2 2005.11 2006.7)	8 件	8 件	23 台
合計	25 件	22 件	45 台

イーパーツの寄贈プログラム

リユース PC で地域と連携

各地域で IT を活用した活動を行っている市民活動団体や NPO そして行政と提携し、リユース PC の寄贈や寄贈後のサポート、各種講習、また団体同士のネットワーキングを進めています。

1) 地域型リユース PC 寄贈プログラムの作成

地域の情報化を促進させることを目的に、お互いにできることの知恵を出し合い、リユース PC 寄贈プログラムをローカライズさせます。具体的には、次の点を決定します。

- 寄贈プログラムの実施時期（公募期間、選考期間、寄贈式）
- 寄贈対象と寄贈台数
- 公募方法と広報（申請書、個人情報の取り扱いなども含む）
- 選考のガイドライン（イーパーツのガイドラインに準拠する形）
- 選考委員の選出
- 寄贈式のプログラムと協働イベントの企画
- 寄贈後のサポート

2) 公募

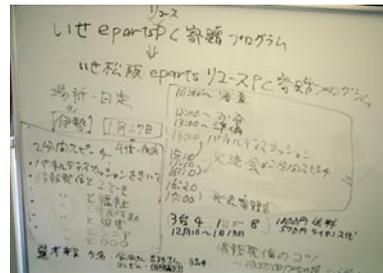
協力団体によって、その地域にあった形で公募とその広報がなされます。平均公募期間は約 1 ヶ月半です。

3) 寄贈先の選考

本来ならば応募団体すべてに寄贈しなければならないところ、寄贈先を絞り込まざるを得ません。そこで、地域市民活動の専門家・イーパーツで選考委員会を組織し、「団体の実績」「PC の有効利用」を軸に優先順位をつけさせていただきます。

4) 寄贈式

寄贈を受ける団体は原則参加して頂きます。前後には、PC 分解講座、IT スピーチ、セキュリティサミットなどを実施し、互いの交流を図る戸と共に、寄贈団体の IT スキルアップを目指します。PC 寄贈をきっかけにしたネットワークづくりが、地域型リユース PC の大きな目標の一つです。



2006 年度地域型協力団体	実施対象
大分県：NPO 大分障害者 UP	大分県内の障害者施設又は障害者を支援している団体
栃木県：NPO 法人 IT@ うつのみや	栃木県内を拠点にして、まちづくりや地域の活性化に寄与している団体
石川県：NPO 法人ケーネット知楽市	石川県内の市民活動団体
三重県：NPO 法人いせコンビニネット 松阪市市民活動センター	伊勢地域と松阪地域の市民活動団体
世田谷：まちづくり工房世田谷社	世田谷区内の市民活動団体

イーパーツの寄贈プログラム

大分イーパーツリユース PC 寄贈プログラム寄贈式

PC 寄贈台数：9 台

日 時：2006 年 7 月 2 日

場 所：大分県身体障害者福祉センター

参加者：リユース PC 寄贈団体他障害者支援団体 200 名

主 催：イーパーツ、大分障害者 UP

催し物：パネルディスカッション「IT 活用で障害者の自立支援を！」



とちぎイーパーツリユース PC 寄贈プログラム寄贈式

PC 寄贈台数：40 台

日 時：2006 年 12 月 24 日、2007 年 3 月 25 日

場 所：宇都宮市中央生涯学習センター

参加者：リユース PC 寄贈団体他市民活動団体 36 名

主 催：イーパーツ、IT@うつのみや

催し物：ワークショップ「パソコンをどのように団体活動に活用していくか」、IT 弁論大会、PC 分解講座



いしかわイーパーツリユース PC 寄贈プログラム寄贈式

PC 寄贈台数：8 台

日 時：2007 年 1 月 20 日

場 所：石川県生涯学習センター

参加者：リユース PC 寄贈団体他市民活動団体 36 名

主 催：イーパーツ、ケーネット知楽市

催し物：基調講演「市民活動における個人情報の保護方法」
活動報告交換会



いせ松阪イーパーツリユース PC 寄贈プログラム寄贈式

PC 寄贈台数：13 台

日 時：2007 年 1 月 27 日

場 所：いせ市民活動センター

参加者：リユース PC 寄贈団体他市民活動団体 40 名

主 催：イーパーツ、いせコンビニネット、松阪市民活動センター

催し物：パネルディスカッション「情報発信のコツ～成功例プロの技から学ぶ」、IT 弁論大会



世田谷イーパーツリユース PC 寄贈プログラム寄贈式

PC 寄贈台数：13 台

日 時：2007 年 5 月 27 日

場 所：世田谷キャロットタワー

参加者：リユース PC 寄贈団体他市民活動団体 8 名

主 催：イーパーツ、まちづくり工房世田谷社

同時開催：Microsoft Works 講習、PC 分解講座



リユース PC 寄贈団体一覧 1

第 32 回リユース PC 寄贈プログラム (2006.7)

にほんご空間 京都	京都府	社会教育	団体事務	3
秋吉台エコ倶楽部	山口県	環境保全	団体事務	3
(社) てりてりかんぱにい	京都府	保健・医療・福祉	団体事務	3
工房 JOY さあくる	秋田県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) ヘアーケア協会	熊本県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) アクティブサポート京都	京都府	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) シニアネット光	山口県	情報化社会・社会教育	IT 講習	1
(特) 御津親の会	岡山県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)	東京都	国際協力	団体事務	1
ワーカーズ茜	東京都	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) 輝く人々の輪	神奈川県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) 介護者サポートネットワークセンター・アラジン	東京都	保健・医療・福祉	団体事務	5

第 33 回リユース PC 寄贈プログラム (2006.9)

運河を美しくする会	東京都	まちづくり	広報・情報発信	1
パソコンクラブ・レッツ ICT	徳島県	情報化社会	IT 講習	5
せんだい男女共同参画財団	宮城県	男女共同参画	IT 講習	10
(特) 持続可能な社会をつくる元気ネット	東京都	まちづくり	団体事務	1
(特) やまゆり	神奈川県	情報化社会	ディジー図書製作	2
(特) TICAD 市民社会フォーラム (TCSF)	東京都	国際協力	団体事務	2
(特) アイ・サポート	東京都	情報化社会・社会教育	広報・情報発信	1
無限責任中間法人 N&A'M	徳島県	保健・医療・福祉	団体事務	3
発達障害児支援サークル「のびのび」	島根県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) nature works	大阪府	学術・文化・芸術	団体事務	1
(特) 糸島シニアネット	福岡県	情報化社会	広報・情報発信	2
(特) ふれあいサポートちやていず	岡山県	まちづくりの推進	団体事務	1
(特) おまけ文化の会	大阪府	学術・文化・芸術	団体事務	2
ボランティアサークル老東部フレンド	大阪府	保健・医療・福祉	団体事務	1

第 34 回リユース PC 寄贈プログラム (2006.11)

(特) ユニバース	京都府	保健・医療・福祉	団体事務	9
つるがしま市民の森に親しむ会	埼玉県	環境の保全	観察検索と記録	6
(特) わくわくかん	東京都	保健・医療・福祉	団体事務	6
(特) スキルアップサービス	福岡県	情報化社会	広報・情報発信	3
(特) あとからゆっくり	大阪府	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) JHP・学校をつくる会	東京都	国際協力	団体事務	3
佐世保子ども劇場	長崎県	子どもの健全育成	団体事務	3
さぬき市点訳サークル コスモス	香川県	保健・医療・福祉	広報・情報発信	3
(社) にいかわ苑	富山県	保健・医療・福祉	団体事務	3
綾瀬こども文庫	東京都	子どもの健全育成	団体事務	3
点訳サークル六星会	東京都	保健・医療・福祉	バリアフリー	6
ともしび点訳グループ	岡山県	保健・医療・福祉	広報・情報発信	3

Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

音声訳グループひびき	愛知県	学術・文化・芸術	団体事務	3
(特)「昭和の記憶	東京都	社会教育	団体事務	3
(特) きらら山口福祉の会	山口県	保健・医療・福祉	団体事務	3

第35回リユースPC寄贈プログラム(2007.1)

(特) 気候ネットワーク	京都府	環境の保全	団体事務	3
(特) 愛夢	神奈川県	学術・文化・芸術	団体事務	3
(特) フィジカルコミュニケーション	埼玉県	学術・文化・芸術	団体事務	3
(社) もくせい福祉会 ラウンジ南浦和	埼玉県	保健・医療・福祉	IT講習	3
(特) なかよし会	東京都	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) Office ノーマライゼーション	大阪府	保健・医療・福祉	コミュニケーション	12
奇楽会	岡山県	学術・文化・芸術	団体事務	1

第36回リユースPC寄贈プログラム(2007.5)

(特) 夢空間松代のまちと心を育てる会	長野県	まちづくり	団体事務	2
仙台朗読奉仕の会	宮城県	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
(特) ITアットうつつのみや	栃木県	情報化社会	IT講習	10
(特) 生石山の大自然保存会	和歌山県	環境保全	IT講習	1
(特) 市川子ども文化ステーション	千葉県	子どもの健全育成	団体事務	3
(特) まちづくり情報センターかながわ	神奈川県	まちづくり	団体事務	1
(特) くるくる	愛知県	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) 長野サマライズ・センター	長野県	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) アイネットワークくまもと	熊本県	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) ドロップインセンター	宮崎県	子どもの健全育成	団体事務	2
(特) 子どもネットワーク可部	広島県	子どもの健全育成	団体事務	2
(特) パートナーシップ・サポートセンター	愛知県	NPO 団体運営	団体事務	2
(社) もみじ福祉会	広島県	保健・医療・福祉	団体事務	3
シニアバソボラ・ばら	神奈川県	情報化社会	IT講習	3
(特) TOBEC	愛知県	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) やまぼうし	宮城県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) 国際援助団体アイウエオサークル	神奈川県	国際協力	団体事務	1
(特) ウィクラブ	宮城県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) さいき未来21	大分県	まちづくり	IT講習	2
(特) 楽笑	愛知県	保健・医療・福祉	団体事務	2
(特) ひだまり	愛知県	保健・医療・福祉	広報・情報発信	1
(特) かながわユースボランティアりんぐファクトリー	神奈川県	社会教育	団体事務	1
パソコン要約筆記「PCながさき」	長崎県	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
パソコンボランティア「パソコン救」	大阪府	保健・医療・福祉	IT講習	3
(特) アウンジャ	京都府	男女共同参画社会	団体事務	1
三田PCクラブ	東京都	情報化社会	団体事務	2
日光語りべの会	栃木県	まちづくり	団体事務	1

Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

リユース PC 寄贈団体一覧 2

第37回リユース PC 寄贈プログラム (2007.5)

(特) ユニバーサルデザイン同夢	三重県	保健・医療・福祉	団体事務	2
(社) エル・エム・ヴィ	神奈川県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
(特) たんなん夢レディオ	福井県	情報化社会	団体事務	2
(特) パソフレ	滋賀県	情報化社会	IT 講習	10
(特) 京都運転ボランティア友の会	京都府	保健・医療・福祉	団体事務	1
音声訳ボランティアの会 COSMOS	神奈川県	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
(特) 地域情報支援ネット	大阪府	保健・医療・福祉	団体事務	2
(特) ピオラ	兵庫県	保健・医療・福祉	団体事務	1
みどり会	東京都	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
東海音訳学習会	愛知県	保健・医療・福祉	団体事務	2
厚木障害者 PC サポートクラブ	神奈川県	保健・医療・福祉	バリアフリー	1
川崎市立東小倉小学校 PTA	神奈川県	子どもの健全育成	団体事務	2
(特) 秋田県南 NPO センター	秋田県	NPO 団体運営	IT 講習	4
(特) 新潟西地区高齢者パソコン友の会	新潟県	情報化社会	IT 講習	4
若年認知症家族会・彩星の会	東京都	保健・医療・福祉	団体事務	2
(社) はぎの郷	石川県	保健・医療・福祉	IT 講習	6

地域型リユース PC 寄贈プログラム

大分第1回イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.6)

千歳ハイツ・エイブル	大分県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
(社) ハーモニー	大分県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
(社) 希望の森 (エバーグリーン)	大分県	保健・医療・福祉	IT 講習	3

とちぎ第1回イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.11)

(社) 晃陽福祉会晃陽職業センター	栃木県	保健・医療・福祉	IT 講習	3
平石地区まちづくり協議会	栃木県	まちづくり	団体事務	1
ボランティア活き活き生涯学習友の会	栃木県	社会教育	団体事務	3
戸祭地域コミュニティ推進協議会	栃木県	まちづくり	団体事務	2
昭和バトミントクラブ	栃木県	学術・文化・芸術・スポーツ	団体事務	1
(特) とちぎ障害者労働自立センターゆめ	栃木県	保健・医療・福祉	療育	2
サバイバルネット「ライフ」	栃木県	社会教育	IT 講習	3
(特) 自由空間ポー	栃木県	保健・医療・福祉	IT 講習	2
横川地区こどもとふれあう会	栃木県	子どもの健全育成	団体事務	1
(社) ルンビニー園	栃木県	保健・医療・福祉	団体事務	2

金沢第1回イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2007.1)

金沢史跡同行会	石川県	学術・文化・芸術・スポーツ	団体事務	1
金沢要約筆記サークル	石川県	保健・医療・福祉	IT 講習	4
石川県盲ろう者友の会	石川県	保健・医療・福祉	団体事務	3

Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

伊勢松坂第1回イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2007.1)

あけぼの会 三重支部	三重県	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) チャレンジスクール三重	三重県	子どもの健全育成	団体事務	3
森林療法研究会三重	三重県	保健・医療・福祉	団体事務	1
音しゃい祭り実行委員会	三重県	まちづくり	団体事務	1
伊勢志摩おもてなしの会 伊勢なでしこ	三重県	まちづくり	団体事務	1
コープみえ くらしたすけあいの会伊勢地域	三重県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) 神社みなとまち再生グループ	三重県	まちづくり	団体事務	1
さわやかパソコン同好会	三重県	学術・文化・芸術・スポーツ	IT 講習	1
すずらの会	三重県	子どもの健全育成	団体事務	1

とちぎ第2回イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2007.3)

(特) ひまわり	栃木県	保健・医療・福祉	IT 講習	2
栃木市朗読ボランティアの会あかり	栃木県	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) サン・大谷	栃木県	保健・医療・福祉	団体事務	2
(社) 長寿社会文化協会 WAC とちぎ	栃木県	保健・医療・福祉	IT 講習	1
OHP サークルすず	栃木県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) さくらの会	栃木県	保健・医療・福祉	団体事務	1
(特) セニア・サービスセンター	栃木県	保健・医療・福祉	団体事務	2
細谷小児の家	栃木県	子どもの健全育成	広報・情報発信	1
宇都宮市手話通訳者連絡会	栃木県	保健・医療・福祉	団体事務	1
DV 被害者支援ボランティア&ハンド	栃木県	人権・平和	団体事務	1
パソコン要約筆記サークル「きぶな」	栃木県	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
(特) おーぶんはうす・るっく	栃木県	子どもの健全育成	団体事務	1
スペシャルオリンピックス日本・栃木	栃木県	保健・医療・福祉	団体事務	1

世田谷イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2007.3)

(特) 市民ビジネスサポート	東京都	NPO 団体運営	IT 講習	5
パナナの会 パソコングループ	東京都	情報化社会	研修	2
いきいき北沢 PC グループ	東京都	保健・医療・福祉	研修	6

北九州イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2007.6)

手話ダンス You&I 北九州	福岡県	保健・医療・福祉	団体事務	3
(特) 三咲会	福岡県	保健・医療・福祉	バリアフリー	1
(特) こころの声を伝えよう実行委員会	福岡県	子どもの健全育成	IT 講習	2
STEP 北九州	福岡県	子どもの健全育成	団体事務	1
福祉劇団こくら南ブチボ	福岡県	まちづくり	広報・情報発信	1
こくら南サポーターズ	福岡県	まちづくり	団体事務	1
(特) 門司赤煉瓦倶楽部	福岡県	学術・文化・芸術・スポーツ	広報・情報発信	2
中間市 EM 普及会	福岡県	環境保全	団体事務	1
中間点字の会	福岡県	保健・医療・福祉	バリアフリー	3
(特) 家庭保育園わんぱくハウス	福岡県	子どもの健全育成	団体事務	1

Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

リユース PC 寄贈団体一覧 3

泉台校区まちづくり協議会	福岡県	まちづくり	団体事務	1
津軽三味線「雅会」	福岡県	学術・文化・芸術・スポーツ	広報・情報発信	1
点訳たんぽぽ会	福岡県	保健・医療・福祉	バリアフリー	2
足原ビデオクラブ	福岡県	学術・文化・芸術・スポーツ	研修	2
ボランティアグループ 渚	福岡県	保健・医療・福祉	団体事務	1
百瀬ミュージックボランティアグループ	福岡県	学術・文化・芸術・スポーツ	団体事務	1
チャイルドライン北九州	福岡県	人権・平和	団体事務	1
(特) Wish	福岡県	保健・医療・福祉	団体事務	1
若松こうさてん	福岡県	社会教育	IT 講習	2
(特) ちいさいおうち共同保育園	福岡県	子どもの健全育成	団体事務	1
(特) nest	福岡県	保健・医療・福祉	団体事務	1
濤懸はまゆう太鼓	福岡県	学術・文化・芸術・スポーツ	広報・情報発信	2
水曜会（音声訳ボランティア）	福岡県	保健・医療・福祉	バリアフリー	5
いこい作業所	福岡県	保健・医療・福祉	団体事務	2
北九州市点訳音声訳ボランティア連絡協議会音声部こたまテーブルの会	福岡県	保健・医療・福祉	研修	3
(ASK) アニマルサポート北九州	福岡県	社会教育	団体事務	1
(特) 北九州バドミントン案内所	福岡県	まちづくり	団体事務	1
(社) 北九州市手をつなぐ育成会 とばた工芸舎	福岡県	保健・医療・福祉	利用者活動	5
黄金まち NPO ステーション	福岡県	まちづくり	団体事務	3
(特) スキルアップサービス	福岡県	情報化社会の発展	IT 講習	10

新潟リリーフイーパーツリユース PC 寄贈プログラム (2006.7)

被災地応援団 越後魂	新潟県	まちづくり	新潟中越地震復興支援	1
------------	-----	-------	------------	---

Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

寄贈プログラムご協力団体様

2006 年度に PC をご提供下さった方々

アドビシステムズ株式会社様

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社様

株式会社大塚商会様

鈴木武志法律事務所様

住友生命保険相互会社様

株式会社東芝様およびグループ会社様

株式会社日本航空様

日本ビューレット・バックカード株式会社様

ホンダエンジニアリング株式会社様

株式会社リコー様

2006 年度にソフトウェアをご提供下さった方々

アドビシステムズ株式会社様

Crestive Suit 2、Photoshop CS2、Illustrator CS2、Photoshop Elements 4、
Premiere Elements 3

トレンドマイクロ株式会社様

Virus Buster 2007

マイクロソフト株式会社様

Windows 2000/Xp、Office Xp、Works 7

2006 年度に周辺機器等をご提供下さった方々

株式会社アイ・オー・データ機器様

外付けハードディスク、外付け CD-RW 他

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

SwitchingHub

株式会社大塚商会様

インクジェットプリンタ、RealMadrid グッズ他

株式会社東芝様

クリアファイル他

日本電気株式会社様

SwitchingHub、外付け CD-RW 他

三井住友海上火災保険株式会社様

PC バック

株式会社リコー様およびグループ会社様

レーザープリンタ、プリンタトナー、コピー用紙、液晶プロジェクタ

2006 年度にその他でご協力頂いた方々

アドビシステムズ株式会社様

講師派遣

株式会社アルファテクノ様

PC 再生

株式会社大塚商会様

PC 講習会場

リコーロジスティクス株式会社様

運送

日本電気株式会社様

PC 再生

※この他に、協賛金も多額頂きました。ご支援頂きました企業様は「団体概要」のページと Web にて「支援企業」「パートナー企業」としてお名前を掲示させて頂いております。

笑顔のメッセージ パソコン編

ひらかた環境ネットワーク会議

PCは順調に動いており、早速、私たちの仕事のよき助手として働いてくれています。

ありがとうございました。

「このパソコンを使って、枚方の環境保全活動がんばります！」

よろしく願いいたします。



社会福祉法人 希望 知的障害者通所授産施設 ゆめこうば

普段使おうと意識したことのないパソコンを使うことにより

コミュニケーション能力の向上と情報化社会への適応や

また、感性を養い興味を持ってもらうよう活用させて頂いております。



弘前子どもコミュニティ・ぴーぶる

「パソコン、ありがとうございました。

地域に根ざす子育て支援を目指し、がんばります。」



ギブ

パソコン寄贈していただいたお蔭で、これから色々な業務の時間が

短縮され、介護やボランティアにより力を入れることが出来、

大変よろこんでいます。心より感謝いたします。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



新青樹

パソコンありがとうございました！

早速、そうりプレーパークのリーダーハウスに持ち込み、お知らせや、

日誌、ちょっとした文書の作成に活用させて頂いております。

プレーリーダーも大喜びで、先日、遊びに来ていた、子どもや家族の

皆さんと、喜びおすそわけの記念写真！

大切に使用させていただきます。



※写真とメッセージの掲載には各団体様より承諾を頂いております。

イーパーツの寄贈プログラム

アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)

このたびは、当会活動への一方ならぬご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

おかげさまで、順調に稼働し、ナイロビ事務所の皆で大切に業務に使わせていただいております。



にほんご空間 京都

漢字クラスで勉強に使っているシーンです。

少人数のクラスですが、年間の延べ人数にすると外国人学習者は今年1500名を超えることができました。

日本語学習や事務活動に活用しています。

ぜひ、メンバーの日本語教師、ボランティア、学生、外国人学習者の方々のお役に立ちたいと思っています。



パソコンクラブレッツICT

パソコンありがとうございました。さまざまな障害を持つ私たちはパソコンを活用し、お互いの能力を高め、講習会、勉強会を通じて地域社会に溶け込む糧とし、生きる喜びを育みたいと思います。

こよなく愛するパートナーとして大切に使用させていただきます。



わくわくかん

コンパクトでかわいいパソコンに、にっこり。

タッチペンがついているのでPCに不慣れな方もなじみやすいです。

また、持ち運びに便利なので野外活動でも有効活用させていただきます！



みどり会

本日、例会にて、会員にお披露目をさせていただきました。

会員一同、これから頑張らねばと志を新たに、早速、分担を決め、音源の取り込みと未経験者の講習プランをたてました。

一朝に、というわけには参りませんが、必ず、お贈りくださったお気持ちに応えられるようにと思っております。



イーパーツの寄贈プログラム

リユースカラーレーザープリンタ寄贈プログラム

(株)リコー様のご協力により、市民活動団体や NPO へカラーレーザープリンタを無償で寄贈するプログラムです。

レーザープリンタはコストパフォーマンスがよく、きれいな出力結果を得られます。チラシやパンフなど、大量に印刷が必要な団体、印刷物製作で自立を目指す障害者施設等には最適です。

1) 公募について

2004年より、年2回の割合で公募しております。2006年度は、2006年7月と2007年3月に公募を行いました。

2) 寄贈プリンタ

(株)リコー製オフィス用本格的カラーレーザープリンタ IPSiO Color IPSiO CX3000、IPSiO Color 8800 です。給紙や両面印刷ができるユニットも標準装備です。ネットワーク上で共有すると威力を発揮します。

3) 寄贈条件

日本国内に主な事務所のある非営利団体であること、申請団体の非営利活動のみで使用すること、カラーレーザープリンタを非営利活動にて有効に使用する予定があること、半年後に活用報告書を提出すること、ランニングコストおよびメンテナンス費用を負担できること。

4) リコーグループ全社をあげての支援

リコーリース様がデモプリンタを回収し、リコーテクノシステムズ様がプリンタのメンテナンスを、リコーロジステックス様が寄贈団体まで無料で搬送し、リコー販売様が活用の相談にのって下さり、株式会社リコーがイーパーツとの窓口となり調整と、本プログラムは、リコーグループ様の大きなバックアップによって支えられています。



カラーレーザープリンタ寄贈プログラム実施概要 (1回～6回)

実施回数	応募件数	寄贈件数	寄贈台数
第1回 (2004年5月)	26	5	5
第2回 (2004年7月)	21	20	20
第3回 (2005年8月)	13	10	10
第4回 (2006年3月)	36	10	10
第5回 (2006年7月)	21	10	10
第6回 (2007年3月)	16	10	10
合計	133件	65件	65件

Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

第5回カラーレーザープリンタ寄贈プログラム (2006.7)

団体名	所在地	主な活動分野	寄贈台数	機種名
練馬区介護人派遣センター	東京都	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX3000
(社)「パーソナル・アシスタンス とも」	千葉県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX3000
ハーモニーの森	大分県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX3000
ばん ばん ばんぶきん	北海道	子どもの健全育成	1	RICOH IPSiO CX3000
日本ベトナム友好協会川崎支部	神奈川県	国際協力	1	RICOH IPSiO CX3000
(社) 知夫村社会福祉協議会	島根県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX3000
(特) 岡山マインド「こころ」	岡山県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX3000
(特) WEL'S 新木場	東京都	職業能力・雇用開発	1	RICOH IPSiO CX3000
アースデイ東京 実行委員会	東京都	環境保全	1	RICOH IPSiO CX3000
(特) IOB スポーツ推進事業団	熊本県	学術・文化・芸術・スポーツ	1	RICOH IPSiO CX3000
合計			10台	

第6回カラーレーザープリンタ寄贈プログラム (2007.3)

団体名	所在地	主な活動分野	寄贈台数	機種名
(特) しぜん あそ・まな・くらぶ	熊本県	環境保全	1	RICOH IPSiO CX8800
(特) アダプティブワールド	東京都	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX8800
(特) 周防大島自然体感クラブ	山口県	まちづくり	1	RICOH IPSiO CX8800
(社) エンゼル	愛媛県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX8800
(特) かすたねっと	広島県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX8800
(特) ジョイフル	兵庫県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX8800
(特) ノウハウ会	大阪府	社会教育	1	RICOH IPSiO CX8800
(特) みやぎ子ども文化センター	宮崎県	子どもの健全育成	1	RICOH IPSiO CX8800
(財) 日本国際交流センター	東京都	国際協力	1	RICOH IPSiO CX8800
(特) ぶろぼの	奈良県	保健・医療・福祉	1	RICOH IPSiO CX8800
合計			10台	

笑顔のメッセージ カラーレーザープリンタ編

アースディ東京 実行委員会

レーザープリンタはコストパフォーマンスもよく、本格的な出力にスタッフ一同感動！早速、実行委員の募集や活動紹介の資料づくりに大活躍しています。取材にきていただけたことで、イーパーツさま、リコーさまの取り組みも直接お伺いでき、改めて、有効に使わせていただこうと感じています。どうもありがとうございました。



ばん・ばん・ばんぷきん

早速、イベントのチラシ製作に大活躍してくれました。以前のプリンタと違い、色も鮮明ですばらしいチラシができました。何より高速プリントできることに会員一同感激しています。会のたのもしい戦力として大活躍すること間違いなしです。



知夫村社会福祉協議会

設置してくださり、さて、LANにつないで設定しないと・・・と考えていると、リコーさんが来て下さり、ぱっぱとパソコンとつないで下さりました。感動です。しかもテスト印刷を見て、また感動です。「キレイ!!!」両面印刷もできるし、うれしい限りです。今後も福祉の充実の為、広報誌の印刷等に活用させていただきます。



パーソナル・アシスタンス とも

就労支援事業に厚みを持たせるために、9月からはダイレクトメールの封入・発送の作業等を行う事業所も新規稼働を始めました。就労は自立への大きな足がかりとなります。今回のご支援を、これからの活動の夢と、それを待ってる方々に向けてぜひ役立てたいと思います。



Wel's 新木場

パンフレットや支援に必要な指示書、実習テキストなど幅広く活用させていただきます。WEL'S 新木場の新木場作業所のパンフレットも印刷いたしました。



※写真とメッセージの掲載には各団体様より承諾を頂いております。

Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

日本国際交流センター

念願のカラープリンターです！！印字も美しく、印刷スピードも速く、感激です。報告書などの作成物が多いので、大活躍しています。

Thank you for RICOH and eparts!!



アダプティブワールド

いただいたプリンタ、はじめてみたときは、あまりの大きさにスタッフ一同で叫びましたが、性能はピカイチとのこと。

これからの活動では、これまで出来ませんでした。

広報誌の印刷をガンガン行いたいと思います。



エンゼル

カラーレーザプリンタの印字品質に驚きました。

広報物はインクジェットプリンタで印刷していましたが、これからはこのプリンタを活用させていただきます。



みやぎ子ども文化センター

プリンタの大きさにびっくり！印刷のスピードに「仕事がはかどる！！」とみんな興奮ぎみです。

今まで、インクジェットプリンタに何台ものPCを繋げて印刷していたので、大量のカラー印刷は、とても大変でした。

今回、寄贈していただいたレーザプリンタは両面印刷もできるので、これから大いに活用していきたいと思います。



周防大島自然体感クラブ

過疎高齢化する自然豊かな周防大島を元気にしたいと頑張っています。

力強い助っ人としてプリンターを寄贈していただき、イベントチラシづくりに資料作成にと早々フル回転のCX8800ですが、スタッフ一同、新しいまちづくりに夢を膨らませて、これから色々な場面で「地域への想い」の実現のために活用させていただきます！



イーパーツの寄贈プログラム

周辺機器他寄贈プログラム

日々情報技術は進化し、より効率的に活動を行う為には新しい機器が必要となります。また、ちょっとした事務用品も、市民活動団体にとっては助かります。イーパーツではそんな「あれば便利なモノ」も寄贈しています。

2006年度より、従来のモデム、USB 接続 DVD/CD-RW、外付けハードディスクなどに加え、インクジェットプリンタ、液晶プロジェクタを寄贈致しました。

また、パソコンバックやクリアファイルなどの消耗品も市民活動団体から大人気です。申請の手間をどう軽減し、そして適切な団体を選考するか課題です。今回は、かつて 寄贈した団体を中心に公募いたしました。リユース PC を差し上げた団体と「ちょっと便利なモノ」で継続的なお付き合いも、支援のあり方ではないでしょうか？

2006/11 大塚商会様ご寄贈 - レアルマドリッドグッズ

全国の市民活動センターや NPO 団体から地域の市民活動団体へ、活動支援として提供させていただきました。

イーパーツ	東京	15130 点	中間支援団体へ提供
札幌チャレンジド	北海道	6830 点	地域団体、講座受講生、ボランティアへ提供
市民活動センター神戸	兵庫	8840 点	地域団体、ボランティアへ提供
岡山市子どもセンター	岡山	6310 点	イベント参加記念
せんだい・みやぎNPOセンター	宮城	6530 点	地域団体、講座受講生へ提供
ボラみみより情報局	愛知	19300 点	国際支援団体、地域団体へ提供
ケーネット知楽市	石川	6420 点	イベント参加記念、講習受講生、ボランティアへ提供
いせコンビニネット	三重	16040 点	地域団体へ提供、イベント参加記念

2007/6 東芝様ご寄贈 - ノベルティグッズ

大塚愛ストラップ 100 個、大塚愛クリアファイル 200 枚、SD ケース 100 個



Annual Report 2006

イーパーツの寄贈プログラム

2007/6 市民活動お役立ち企画＝リコー様ご寄贈

世田谷区旭 SUN2 スクール	東京都	ペーパー B4,B5	500X7 個
細谷子どもの家	栃木県	ペーパー A5,B6	250X16 個
もみじ福祉会	広島県	リコートナー 2500 C,Y,M	7 個
フィジカルコミュニケーション	埼玉県	リコートナー 2500 C,Y,M	7 個
山梨外国人人人権ネットワーク・オアシス	山梨県	リコートナー 2500 C,Y,M、感光体 2000	6 個
日本国際交流センター	東京都	リコートナーイプシオ 9800 c, ブラック	4 個

2007/4 市民活動お役立ち企画＝三井住友海上火災保険株式会社様ご寄贈

茨木市バラの会	大阪府	エレコム製 PC バック	5 個
NPO 共生会	愛知県	エレコム製 PC バック	1 個
piko poku CLUB	福岡県	エレコム製 PC バック	2 個
点訳サークル六星会	東京都	エレコム製 PC バック	5 個
ユニバース	京都府	エレコム製 PC バック	5 個
鎌倉市点訳赤十字奉仕団	神奈川県	エレコム製 PC バック	1 個
茨城 NPO センター・コモンズ	茨城県	エレコム製 PC バック	2 個
パソコンボランティア「パソコン救」	大阪府	エレコム製 PC バック	5 個
さわやかいいね金沢	石川県	エレコム製 PC バック	2 個

2007/6 市民活動お役立ち企画＝大塚商会様ご寄贈

トルシーダ	愛知県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
練馬 177 地域 IT リーダーの会	東京都	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
昭和バドミントンクラブ	栃木県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
あきたシニアクラブ	秋田県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
社会福祉法人ハーモニー	大分県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
パソコンボランティア「パソコン救」	大阪府	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
青い麦の家	神奈川県	キャノン製 PIXUS IP2200	2 台
いのちのさと	徳島県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
国際援助団体アイウエオサークル	神奈川県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
シニアパソコン・ばら	神奈川県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
ADRA Japan	東京都	キャノン製 PIXUS IP2200	3 台
小規模作業所 小春日和	兵庫県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
せたがや子育てネット	東京都	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
プレイグラウンド	埼玉県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台
奇楽会	岡山県	キャノン製 PIXUS IP2200	1 台

2007/2 周辺機器寄贈プログラム＝アイ・オー・データ機器様、リコー様ご寄贈

パンフレ	滋賀県	液晶プロジェクタ (リコー様)	1 個
ゆめ・まち・ねっと	静岡県	液晶プロジェクタ (リコー様)	1 個
湘南ふじさわシニアネット	神奈川県	無線ルーター＋無線 LAN カード (アイ・オー・データ様) 1 セット	
いのちのさと	徳島県	LAN 接続ハードディスク (アイ・オー・データ様)	1 個

レクチャー・スペシャルプロジェクト

レクチャー・スペシャルプロジェクト

情報化社会の抱える問題やニーズに即したテーマを、市民活動団体のデータベース、情報に関するノウハウ、企業や専門家とのネットワークを活用し、問題解決にあたります。

1) レクチャー・スペシャルプロジェクトの目的

イーパーツでは、ただ単に情報機器を寄贈するだけでは、本当の情報化につながらないと考えています。市民活動団体やNPOにとって、高度情報化社会において、どのように情報を利用しどのようにリスクを管理するのか、また今後情報化社会はどこへ向かうとしているのか、そこで生じる問題は何か、解決の仕方はなどを考えていかなければなりません。イーパーツは、これらの課題に対して専門性とネットワークでソリューションを提示したいと思っています。

2) レクチャーとスペシャルプロジェクト

具体的な解決手段は、講演や講座を中心とする「レクチャー」、独自の視点からシンポジウムや議論の場をプロデュースすること、情報利用に関わるコンサルティング等の「スペシャルプロジェクト」に分けられます。

3) 他と協働すること

イーパーツ単体では、講演・講座・シンポジウム等を実施いたしません。独自で行うことよりも、文化も領域も違った団体と協働するように努めています。異なる団体と一緒に開催することで、トラブルや問題点も起こります。しかし、それ以上に1団体ではとうてい達せない成果を上げることができると信じています。また、いろいろな団体と共同作業を行うことで、新たな出会い、今まで知り得なかったことやノウハウなどに触れる事ができ、イーパーツをより発展させることでしよう。

4) テーマと実施回数

多々あるテーマの中から、イーパーツでは、次の6つに絞ってレクチャー・スペシャルプロジェクトを実施しています。以下、実施回数、のべ受講者数は2003年7月1日から2007年6月30日までの4年間の累計です。

テーマ	内容	実施総回数	のべ受講者数
情報を考えるシリーズ	市民セクター全国会議	5回	450名
情報セキュリティ	セキュリティ対策、個人情報など	51回	1360名
市民、市民活動への情報化支援	アプリケーション講座、広報・メディア関連	69回	1882名
防災、災害復興支援	新潟中越復興支援、災害と市民メディア	3回	280名
子ども達への情報化支援	PC分解講座、うちわを作るなど	33回	731名
障害者支援	PC再生作業、自立のためのIT活用など	7回	349名
学校への情報教育支援	PowerPointとプレゼンテーション、個人情報など	25回	775名
その他	P企業研修などなど	1回	10名
合計		194回	5937名

パソコンの中はどうなっているの? 「PC 分解講座」

パソコンの中身はどうなっているのだろうか?

子どももシニアも興味津々です。

イーパーツでは、再生できなかった PC のフタを開けて、どんな構造になっているのかを学びます。

日時: 2006 年 10 月 7 日 (土) 12:30 ~ 16:00

会場: 千代田区立児童・家庭支援センター

主催: イーパーツ、千代田区立児童・家庭支援センター、
ちよだボランティアセンター

ボランティア: ジブラルタ生命様 (6 名)、新生銀行様 (1 名)

対象: 小学生 14 名



実施内容

(1) ボランティア事前研修 (12:30 ~ 13:45)

初めて PC 分解講座に参加されるボランティアに対して、PC の仕組み、分解実習、講座の進め方、子供たちへの教え方、安全確保などについて、事前研修を行います。

子供たちに適切な説明とケガをしないように、パソコンが得意な方もそうでない方も必要なことです。



(2) PC の中身を見てみよう (14:00 ~ 15:15)

最初に、CPU、ハードディスク、メモリなど、パソコンの中にある部品やその役割を簡単に勉強します。子供たちは、それらを PC を分解しながら探します。

ネジが回らないところ、探せない部品などをボランティアがサポートします。



(3) みんなで後かたづけ (15:15 ~ 15:30)

分解し終わると、ゴミの山です。

スタッフが金属は資源として再利用、ケースのプラスチックは燃料に、緑の基盤は産業廃棄物としてきちんと処理されることを説明します。

子供たちは、自分たちの分解したものを分別しながら片づけます。分解するだけではなく、後片づけも大切なことを分かって欲しいと思っています。

こどもたちの声

- ・液晶パネルに 3 まいくらいの紙が出てきた (小 3 男)
- ・パソコンの中は、こんなになっているなんてびっくりした (小 4 男)
- ・せいみつ機械の集合体ということを知った (中 2 男)
- ・いつも使っているパソコンの中がよく分かりました。とてもふくざつなつくりでびっくりしました (小 4)
- ・キーボードを分解したところがおもしろかった (小 3, 4 女)
- ・磁石がはいてたり、いろいろな物がはいていておもしろかった (小 4 女)
- ・いろいろな部品を見たこと、ふつうは見れなかったものを見たこと、
- ・ハードディスクの円ばんを見たこと、ハードディスクの中の強力磁石を見たことです。



※同様の講座を 2006 年度中に他 7 回実施いたしました。

アスペルガ症候群障害者によるリユース PC 再生の試みを支援 ～障害者の自立と MAR の普及を目差して

Microsoft Authorised Refurbisher(MAR) は中古 PC に Windows や Office をインストールして非営利団体へ寄贈できる仕組みです。障害者が PC を再生し、企業や寄贈先団体から再生費を得ることで彼ら自身の自立へつながります。その事業化の為へまず一步を支援しました。

日時:2007 年 3 月 27 日 10:00 ~ 16:00

会場:石川県リハビリテーションセンター

主催:NPO 法人イーパーツ、NPO 法人ケーネット知楽市

協力:発達障害者支援センター パース、堀田昇（東京電子専門学校）、JAL パソコンボランティア

受講者:アスペルガ症候群患者 2 名（20 代男女）

技術指導:会田 和弘（イーパーツ）

障害者指導:ケーネット知楽市 9 名、瀬戸美津子（パース）

障害者支援組織が MAR になり PC の再生に関わることで再生費を企業や寄贈先から得ることができます。これは障害者が自立する為の一つの選択肢になります。しかし、どのような障害をもっている方なら再生作業ができるのか？、どのような工程なのか？、どのような施設が必要なのか？、スタッフはどうサポートしたらよいのか？など、障害者支援組織にとって実際にやってみなければわからないことが多くあります。そこで、イーパーツでは、障害者支援組織と協働して、アスペルガ症候群障害者の方と実際にリユース PC 再生作業を行ない、事業化へ向けて再生工程の構築・サポート体制の整備・問題の洗い出しを行いました。そして、今回再生された PC は、イーパーツの寄贈プログラムで市民活動団体へ寄贈されました。

【実施過程】

Step1：マスター PC の作成

事前に、イーパーツで同機種の PC（東芝製 Satellite1800）を 20 台用意し、OS およびビジネスソフト、その他必要なソフトウェアをインストールし完全に動作する PC を 3 台組み立てる。

Step2：マスター PC をもとに PC を再生する手順の選択

マスター PC から同じ内容の PC を制作する為、次の 2 つの方法を用意した。

- (a) マスター PC の HDD 内容を同機種の HDD へ直接コピーする方法
- (b) マスター PC のインストールディスクの作成

それぞれに必要なツールを用意し、マニュアルを作成した。今回再生作業をおこなう障害者にとってわかりやすいもの、負担でない手順を協力団体の意見を参考に検討し (b) の方法で実施することを決定。

Step3：現地でのレクチャー（90 分）

イーパーツより PC17 台と工具他再生に必要なものを発送。現地協力団体による作業施設の整備。イーパーツより約 90 分障害者指導スタッフへ再生工程のレクチャー。

Step4：現地での再生作業（120 分）

障害者指導スタッフが障害者へ再生手順のレクチャー。障害者による PC へのソフトのインストール、正常起動を確認、PC の清掃。（約 120 分間）。（右頁上から 2, 3 枚目）

Step5：リユース PC の発送

障害者指導スタッフが PC の梱包および発送。



評価と課題

イーパーツにとって、今回の試みをかねてより計画をしていたが、条件が整わず実施できなかったことで、今後に向けて評価すべき点と貴重な改善点をえることができました。

障害者支援スタッフからは、つぎのような意見を頂きました。

- ・通常2時間は作業できない障害者であっても、作業しやすい環境づくりや細やかな対応によって十分可能な作業である。
- ・対人が苦手な障害者にとっては、向いている作業である。
- ・紙芝居のような画像のマニュアルはにはとても理解しやすいようだった。
- ・障害者にとって、何にでも挑戦したいという気持ち、自分ならできるという自信が、以前より強くなったように思う。
- ・今回の高額報酬は障害者にとって、励みになった。
- ・今後も継続的にPCの再生作業を行うことで、障害者の自立へ向けて事業化も十分可能である。

イーパーツからみた場合、今回の動きを事業へとつなげるには、再生技術をどう高めるか、技術的トラブルが生じた場合の対応はどうか、継続的に再生するにはどのような物流が必要か、PCはどう確保するか、サポートスタッフの交通費や必要経費をどう工面するかなど多くの課題が残りました。しかし、今回のチャレンジは障害者の方々に新たな自立の可能性を開いたことは事実です。今後も、継続的にチャレンジしていくつもりです。

再生されたPCはどこへ？

今回再生されたパソコンは「森林療法研究会三重(写真下から3番目)」、「はぎの里(写真下から2番目)」、「社会福祉法人もみじ福祉会(写真一番下)」などに寄贈され、市民活動や障害者の方々の支援へと有効に使われています。以下のお礼メッセージを頂きました。

社会福祉法人もみじ福祉会様からのメッセージ

「パソコンありがとうございました。

チラシ作りなどの仕事に使っているのはもちろんのこと、パソコンの台数が限られてなかなか経験できない人たちのパソコン練習に大活躍しています。

「パソコンを使っているいろいろな事ができそう」と利用者も胸をときめかせています。」



情報を考えるシリーズ5 市民セクター全国会議 2006 共催イベント シンポジウム「市民セクターがメディアを持つ時」

インターネットの進化にともない、大手メディアを使わなくても、市民がその独自の視点と価値観をもって情報を選択し、広く世に問いかけることができるようになってきた。「市民メディア」時代の到来である。では、市民セクターはこの市民メディアとどのように付き合えばよいのか？

日時：2006年11月24日 13:30～16:30

会場：東京都千代田区丸の内2-5-2三菱電機ビルエムプラス1F シリウス

主催：特定非営利活動法人イーパーツ

共催：市民セクター全国会議

対象：市民セクター全国会議2006参加者から50名

キースピーカー：島田利明氏 総務省関東総合通信局 企画監理官

パネリスト：

池田佳代氏 OurPlanet-TV 事務局長

金山智子氏 慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所助教授

田中康文氏 OhmyNews 編集局市民記者組織本部本部長

中山マサオ氏 世田谷テレビ主宰

(肩書きは開催当時のものです)

ファシリテーター：会田和弘 イーパーツ



キースピーチ：「市民メディアの現状と期待」 総務省 関東総合通信局 企画監理官 島田利明氏 (13:30～13:55)

総務省関東総合通信局は、もともとは放送などの無線局の免許や電波監理業務を行ってきた。平成元年より地域振興行政として自治体の通信インフラ整備などを手がけ、現在はユビキタス社会構築へ向けて民間企業や自治体へ情報通信行政を行っている。その一方で、地域住民とどのように連携してくかが課題となってきた。

昨今のインターネットの普及は、一般の方々の情報発信を活性化させるのみならず、熊本県山江村民テレビのようにまちおこしにも大きく寄与している。関東総合通信局では、この地域メディアの動きをバックアップする為、関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会を通じて地域セミナーや調査研究を行ってきた。この調査により、地域住民が行政や教育機関と連携し情報発信、地域メディアが番組の一部を地域住民に開放、住民自ら地域メディアを運営し、過疎化に悩む地域を元気にするなど多くの地域活性化の事例を多くみることができた。このような地域メディアによる活性化は、まだ一部地域で実施されているに過ぎないが、自分達も行ってみたいという反響は大きい。

地域メディアは、マスメディアと対局に語られることが多い。しかし、災害時などを想定してみると、前者は被災地域内の災害情報を集約し発信、後者はそれらをいち早くワイド情報として国民全体へ提供できるなど、お互いに特質を補完することが望ましい。特に、災害直後には、地域メディアだけが災害ボランティアと連携して適切な地域情報を発信できる。それを実現させる為には、地域メディアが継続的に地域に関わる必要がある。(参考 URL 関東総合通信局 <http://www.lanto-bt.go.jp/>)

事例報告 (13:55～14:55)

世田谷テレビ：中山マサオ氏 <http://www.oresai.com/tv/>

OurPlanet-TV：池田佳代氏 <http://www.ourplanet-tv.org/>

OhmyNews：田中康文氏 <http://www.ohmynews.co.jp/>

パネルディスカッション (15:00 ~ 16:30)

問題提起 (会田) :

プロが使うものと同機能なパソコンやソフトウェアが比較的入手しやすくなり、音声動画配信が簡単に行え、誰もが放送局やメディアとなりつつある。そのような中、マスメディアとは違った情報発信をする「市民メディア」が今注目を浴びている。それは個人メディアやマスメディアとどう異なるのか？そして、市民セクターは市民メディアをどうに役立てることができるだろうか？また市民セクター自身がメディアとなることにどんな意味があるのか？ここできちんと考えるべきだろう。

市民メディアとは (金山) :

市民メディアは、マスメディアとの違っているのは、次の点であろう。「アクセス」と「参加」がキーの参加型メディアであること、メディア制作のプロではない個人やコミュニティが自分の意見を表現する場であること、報道取材ではなく、考え・意見・視点・情熱などの「共有」であること、自分が関心があるもの伝える「当事者が語る力」があること。このような市民メディアは、市民セクターにとって自分たちの活動を伝えるということでは大変役立つ。

市民セクターの強力なツール (田中) :

NPOは、特定の目的をもって自発的に活動し、簡易にミッションに応じてオープンに他団体とつながるという特徴をもった組織である。そういうNPOの力を発揮できるツールが一つ増えたということだろう。何か持っているならとにかく発信し、それを続けることが重要。それが島になりそれがつながることで市民セクターがネットワークし、社会的課題をより解決できるようになるだろう。

情報発信することで人は成長する (中山) :

市民メディアにコミュニケーション能力、人と話せる能力が大きく変わると思う。今まで視聴者で「いやいや私は・・・」と遠慮していた人が、放送に出演したことをきっかけに地域メディアの放送局長になった例は多い。「自分が思ってたことなんか」「人様に言えるものではない」と思っていたのが、人とコミュニケーションをとっていくうちに自分のメッセージも人の役にたつと分かる時がある。その時、その人のスキルはぐっと上がる。

正しく伝える技術を学ぶ (池田) :

情報を発信することや自分が映像をつくることで、映像のもつ良さと悪さが理解できるようになる。そのことから、正しく伝える術を学ぶことができるようになる。それは市民セクターが今後活動していく上で大きな力になるだろう。



パネルディスカッション「IT 活用で障害者の自立支援を！」

—大分版リユース PC 寄贈プログラム連携企画—

ITは障害者の自立をどうかえるのか？

すでに IT を取り入れ名刺作成などの業務を行っているところ、これから PC を導入するところ、どう連携していくのか？

日時：2006年7月2日（日） 10:00～11:45

会場：大分県総合福祉会館 4F 大ホール

主催：障害 UP 大分プロジェクト

共催：イーパーツ、(財)ハイパーネットワーク社会研究所

後援：大分県、大分社会福祉協議会、マイクロソフト（株）

ファシリテータ：会田和弘（イーパーツ）

対象：障害者の QOL を支援する団体から 100 人

受講料：無料



パネリスト：大分県福祉保健部障害福祉課 課長 川野義人、大分県企画推進課 IT 推進課 課長山戸康弘
障害者 UP 大分プロジェクト 石田洋子（障害者支援団体）
小規模通所授産施設ひので 理事長 藤波志郎（IT による自立プログラム実施団体）
精神障害者地域生活支援センター三角ベース 佐藤寛文（IT による自立プログラム実施団体）
入所授産施設千歳ハイツ・エイブル（リユース PC 寄贈団体）
引退障害者小規模作業所エバグリーン（リユース PC 寄贈団体）
身体障害者療護施設ハーモニーの森（リユース PC 寄贈団体）

NPODAY 2007 分科会 2 「IT コミュニケーション術」

—マイクロソフト NPO 支援プログラム 東京、札幌、名古屋—

NPO にとって、受益者・企業・ボランティア・メディアそして社会とコミュニケーションをどうとるかが重要な課題である。IT はどう利用できるのか？

IT だけでよいのか？

日時：2007年5月14日（東京）、6月14日（札幌）、6月22日（名古屋）

会場：津田ホール（東京）、北海道経済センター（札幌）、マナホール（名古屋）

参加者：東京 200 人、札幌 100 人、名古屋 100 人

主催：マイクロソフト株式会社

協賛：NPO・IT 推進協議会

企画・ファシリテータ：会田（イーパーツ）

講師（東京）：齊藤玲紀（MSN,SEO リード）、菅 成由（アクティオ）、
中山マサオ（世田谷テレビ）



分科会 2 概略

「オンラインマーケティングと Web ライティングについて」

AIDAMA と AISA、検索の需要と重要性、検索エンジンの最適化、demo サイト診断、NPO のための SEO 対策

「NPO の広報活動」

PR とは？ キーメッセージとサポートデータ、PR テクニック（ブリッジ、プレスリリース）、メディアの特性、ジャーナリストとの接し方。

「世田谷テレビ」

ムービーメーカーの使い方、動画サイトの紹介、地域（世田谷）で情報発信をする意味、なぜ必要か、どう人や地域がかわったか。

情報セキュリティ対策シート

—セキュリティ対策推進協議会 "SPREAD" へコンテンツ提供—

パソコン先生が、受講生に「こうやって」を渡せるものを独自で作成しました。この内容へ「セキュリティ対策推進協議会」へ提供しました。

情報化社会における様々な脅威に対して、OS やアプリケーションのパッチ、セキュリティソフトの使い方などをわかりやすく解説します。印刷して持ち運べるように、対策シート（A4-2枚）としました。



イーパーツ

http://www.eparts-jp.org/secure_method/

セキュリティ対策推進協議会

<http://www.spread-j.org/sheet/index.html>

情報セキュリティ対策シート例

- ・ [Windows XP] のファイアウォール機能の使い方
- ・ [Windows XP] のログオン時のパスワードの設定・変更のしかた
- ・ [Windows XP] のセキュリティ警告について
- ・ [Internet Explorer7] のインストール方法
- ・ [Internet Explorer7] のフィッシング詐欺検出機能の使い方
- ・ [Defender] による迷惑ソフトウェアのスキャンのしかた

Photoshop Elements, Illustrator 講座

— NPO の為のデザイン講座 —

NPO がちょっとすすんだ技術を身につけるため、画像編集・補正の基礎、イラスト作成を学びます。

会場：東京都世田谷区三軒茶屋キャロットタワー 3F

講座概要：

Photoshop Elements 入門講座

vol.1 2006年12月23日（土）13：00～15：00

vol.2 2007年2月18日、3月4日、3月18日、各回15：00～17：00

- ・ 第1回：PhotoshopElement4の基本と簡単な画像補正を中心に
- ・ 第2回：実践的な写真補正術
- ・ 第3回：画像の切り取り、加工と合成

Illustrator 講座

vol.1 2007年1月11日～2月4日（全4回）

vol.2 2007年4月1日、15日、29日、各回15：00～17：00

- ・ 第1回：Illustratorを使ったイラスト作成
- ・ 第2回：名刺の作り方、デザインから入稿まで
- ・ 第3回：チラシの作り方など



Annual Report 2006

レクチャー・スペシャルプロジェクト

2006 年度 実施記録一覧

2006.7.1 より 2007.6.30 までに、レクチャー・スペシャルプロジェクトとして、様々な団体と様々な講座・講演・シンポジウム等を実施しました。

レクチャー・スペシャルプロジェクト名	種別	実施日	受益者数	実施場所
【情報を考えるシリーズ】				
市民セクター全国会議 2006	シンポジウム	2006/11/14	50 人	実施場所
計	1 回		50 人	
【情報セキュリティ】				
Microsoft 「お役立ちシート」	プロジェクト	2006/10/20		セキュリティ対策推進協議会 Web
「情報社会学講座」(全 5 回)	講座	2006/11/2~12/21	150 人	東京都渋谷区
「現在のセキュリティ事情」	講演	2006/11/14	30 人	大分県大分市
NPO に必要な情報管理とは	講演	2006/12/19	20 人	兵庫県神戸市
インターネットのセキュリティの現状	講演	2006/12/20	40 人	兵庫県関西学院大学
「市民活動における個人情報の保護方法」	講演	2007/1/20	30 人	石川県金沢市
「パソコンミニ講座、Q&A」セキュリティ	講演	2007/3/23	40 人	福岡県北九州市
計	7 回		310 人	
【市民、市民活動への情報化支援】				
市民メディア全国交流会「市民メディアは社会をつなぐ？」	企画・運営	2006/9/9	300 人	神奈川県横浜市
リコーテクノシステムズ「イーパーツキッズ支援プログラム」	講演	2006/11/9	50 人	東京都台東区
Photoshop Elements 入門講座	講習	2006/12/23	7 人	東京都世田谷区
「パソコンをどのように団体活動に活用していくか」	講習	2006/12/24	30 人	栃木県宇都宮市
Illustrator 入門講座 (全 4 回)	講習	2007/1/11~2/4	27 人	東京都世田谷区
「情報発信のコツ〜成功例プロの技から学ぶ」	パネルディスカッション	2007/1/27	40 人	三重県伊勢市
IT 弁論大会	ワークショップ	2007/1/27	40 人	三重県伊勢市
PhotoshopElements 講座 (全 3 回)	講習	2007/2/18~3/18	13 人	東京都世田谷区
Illustrator 講座 (全 3 回)	講習	2007/4/1~4/29	8 人	東京都世田谷区
Microsoft NPODAY 2007	企画	2007/5/14~6/22	50 人	東京都新宿区
Microsoft NPODAY 2007	講習	2007/5/14	200 人	東京都文京区
Microsoft NPODAY 2007	講習	2007/6/14	100 人	北海道札幌市
Microsoft NPODAY 2007	講習	2007/6/22	100 人	愛知県名古屋
Microsoft Works の使い方、PC ハードウェアについて	講習	2007/5/27	7 人	東京都世田谷区
Adobe Photoshop Illustrator Hands ON	講習	2007/5/29	21 人	東京都千代田区
Adobe Photoshop Illustrator Hands ON	講習	2007/5/31	16 人	大阪府北区
計	23 回		1009 人	

Annual Report 2006

レクチャー・スペシャルプロジェクト

【子ども達への情報化支援】

PC 分解講座	講座	2006/7/8	13 人	東京都世田谷区立駒留中学校
Word でうちわを作ろう (全 2 回)	講座	2006/7/15	73 人	東京都世田谷区立桜小学校
PC 分解講座	講座	2006/7/22	23 人	東京都世田谷区旭小学校
インターネットを使ってみよう	講座	2006/8/19~20	20 人	長野県松代市
PC 分解講座	講座	2006/8/20	18 人	長野県松代市
PC 分解講座 (全 3 回)	講座	2006/8/22	58 人	岡山県岡山市
PC 分解講座	講座	2006/10/7	13 人	東京都千代田区
PC 分解講座	講座	2007/3/10	35 人	東京都世田谷区立桜小学校
Word でうちわを作ろう (全 2 回)	講座	2007/6/16	58 人	東京都世田谷区立桜小学校
計	13 回		311 人	

【障害者支援】

「IT 活用で障害者の自立支援を！」	パネルディスカッション	2006/7/2	100 人	大分県大分市
全国障害学生支援センター「ネットワーク構築」	ワークショップ	2006/8/18	6 人	東京都町田市
発達障害者支援「リユース再生作業」	プロジェクト	2007/3/27	10 人	石川県金沢市
計	3 回		116 人	

【学校への情報教育支援】

兵庫全県教育長研修会「学校における個人情報の扱い方」	講演	2006/8/28	70 人	兵庫県神戸市
相模原市教育委員会「著作権・個人情報保護研修」	講演	2006/10/31	60 人	神奈川県相模原市
PowerPoint の使い方とプレゼンテーションの基礎	ゲストティーチャー	2007/1/12	40 人	東京都世田谷区立砦中学校
PowerPoint の使い方とプレゼンテーションの実務	ゲストティーチャー	2007/1/26	40 人	東京都世田谷区立砦中学校
東京私立中学高等学校協会研修会「セキュリティ、著作権、モラル」	講演	2007/2/22	40 人	東京都千代田区
計	5 回		250 人	

マイクロソフト社様 PC 分解研修	ワークショップ	2007/2/30	10 人	東京都渋谷区
計	1 回		10 人	

2006 年度総計	53 回		2056 人	
-----------	------	--	--------	--

Annual Report 2006

イーパーツについて

メディア掲載記録

2006.7.1 ～ 2007.6.30 までに、以下メディアに、イーパーツ関連記事と掲載して頂きました。

メディア名	掲載・報道時期	タイトル
テレビ		
TOS テレビ大分	2006/7/2	「IT 活用で障がい者の自立支援を！」 大分イーパーツリユース PC 寄贈式とパネルディスカッションの紹介報道
新聞		
Sinken まちづくり新聞 vol.116	2006/9/15	「Adobe 寄贈プログラム」 助成金補助金情報として掲載
東京新聞 (横浜版)	2006/9/10	「市民メディアは社会をつなぐ？」 市民メディアサミット 06 横浜開催紹介記事
東京新聞 (東京版)	2006/11/24	「市民メディアの展望や課題紹介」 市民セクター全国会議 06 協賛プログラム紹介記事
神戸新聞	2006/12/21	「ネット情報管理大丈夫？ 関学大三田で講演会」 関西学院大学総合政策学部研究会講演
下野新聞	2006/12/25	「談話室」 栃木版リユース PC 寄贈式の様子が写真入りで掲載
北陸中日新聞	2007/1/21	「再生パソコン活用を」 石川リユース PC 寄贈式の様子が掲載
東海経済新聞	2007/2/28	「再生パソコンを市民団体へ」 いせ松阪リユース PC 寄贈式の様子が掲載
毎日新聞	2007/4/13	「中古 PC “ 地産地消 ” へ」 北九州リユース PC 寄贈プログラムが掲載
読売新聞	2007/5/31	「ネットモラル」 中高生ネットモラル会田コメントが記載
Web ニュース		
Web 版東京新聞	2006/11/24	「市民メディアの展望や課題紹介」 市民セクター全国会議 06 協賛プログラム紹介記事
MYCOM ジャーナル他	2006/12/6	NPO-IT 推進協議会発足の様子が掲載 Nikkei Bpnet デジタル ARENA,CNET Japan,BCN ランキング,IB Times
YOMIURI ONLINE	2007/5/31	「ネットモラル」 中高生ネットモラル会田コメントが記載
毎日新聞 universalon 他	2007/5/15	Microsoft NPO DAY 2006」 分科会「NPO のための IT コミュニケーション術」 写真報道 IT media,ZD Net,RBB TODAY
学会誌関連		
電子情報通信技術研究報告	2006/11/2	研究報告「シニア向け情報セキュリティ体制の試み ～大分における実践報告～」(会田)
法政大学地域研究センター	2007/3/31	「地域の中小企業活性化と実践的体験教育」インタビュー記事
日本セキュリティ・マネジメント学会	2007/4/31	学会誌 解説「地域における情報セキュリティ教育の現状と課題」(会田)

Annual Report 2006

イーパーツについて 会計報告

※第6期総会において、2004年度、2005年度会計の修正を行いました。

科目	2004年度決算額	2005年度決算額	2006年度決算額
I 収入の部			
1) 会費・寄付収入	7,770,000	8,371,429	8,508,000
2) 事業収入			
情報機器の再利用	324,505	441,440	1,165,960
情報機器の利用に必要な技術の供与	1,904,860	2,309,180	1,724,465
非営利団体の運営、活動に関する研究	0	485,690	227,460
収益事業 出版	0	29,400	0
3) 寄付金助成金などその他収入	79,225	471,591	24,260
4) 前年度繰越財産	2,687,239	2,258,071	3,954,949
収入合計	12,765,829	14,366,802	15,606,689
II 支出の部			
1) 事業費			
特定非営利活動に係る事業			
情報機器の再利用	1,340,329	2,234,397	4,042,945
情報機器の利用に必要な技術の供与	2,206,739	2,730,023	2,889,518
非営利団体の運営、活動に関する研究	2,000	882,569	975,938
非営利団体相互の交流の促進	0	0	0
事業費支出合計	3,549,068	5,846,989	7,908,401
2) 管理費			
人件費	3,731,500	2,415,870	1,675,024
運賃	71,460	67,120	12,525
旅費交通費	369,230	384,810	377,190
通信費	139,152	120,301	51,099
水道光熱費	107,110	32,515	32,825
消耗品費	275,073	468,303	161,388
支払手数料	151,464	329,056	90,534
地代家賃	1,430,000	396,000	506,000
会議費	98,889	144,546	77,156
諸会費	-	-	12,000
広報費	320,880	9,205	0
保守料	-	-	18,113
保険料	-	-	22,500
租税公課	1,000	8,000	70,000
減価償却費	164,988	145,242	91,647
雑費	31,900	42,615	3,270
雑損	10,835,326	1,280	1,010
管理費支出合計	10,835,326	4,564,863	3,202,281
支出合計	10,835,326	10,411,852	11,110,682
次年度繰越財産	10,835,326	3,954,949	4,496,007

団体概要

イーパーツは、リユース PC を寄贈する活動やシンポジウムの開催などを通して、非営利組織、ボランティア団体、障がい者支援グループの情報化を目的とする特定非営利活動法人です。

- 名称 特定非営利活動法人イーパーツ（東京都認証）
- 設立 2002年5月23日
- 所在地 〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 1-17-4 メゾンクロニア 307
TEL & FAX：03-5481-7369 E-mail:info@eparts-jp.org
URL：http://www.eparts-jp.org/
- 役員
代表理事 佐々木 良一 東京電機大学 教授
常務理事 会田 和弘 東京電機大学 産能短期大学 兼任講師
理 事 大塚 裕司 (株)大塚商会 代表取締役社長
同 竹原 正篤 マイクロソフト(株)
同 西部 忠 北海道大学 教授
同 細野 昭雄 (株)アイ・オー・データ機器 代表取締役社長
監 事 岡崎 智道
- 支援企業 株式会社 大塚商会
マイクロソフト 株式会社
株式会社 アイ・オー・データ機器
- パートナー企業 アドビシステムズ 株式会社
株式会社 アルファテクノ
トレンドマイクロ 株式会社
日本電気 株式会社
日本ヒューレット・パッカード 株式会社
株式会社 日本ビジネスリース
株式会社 リコー

特定非営利活動法人イーパーツ活動報告書 2006（2006.7～2007.6）

発行日：2007年7月27日

編集・発行：特定非営利活動法人イーパーツ

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 1-17-4 メゾンクロニア 307

TEL & FAX：03-5481-7369 E-mail:info@eparts-jp.org

URL：http://www.eparts-jp.org/

(C)2007 eparts, All Rights Reserved

